

年 組 名前:

問1

南アルプス市の
梱包材販売会社は、
梱包資材を再利用する
サービスを始めました。
その理由を
教えてください。

.....
.....
の削減につながり、
それが
.....
.....
.....

問2

利用された梱包材を
どのように回収し、
どのようにしてから
再利用しますか。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

問3

現在は、どのような商品の発送に利用されていますか。

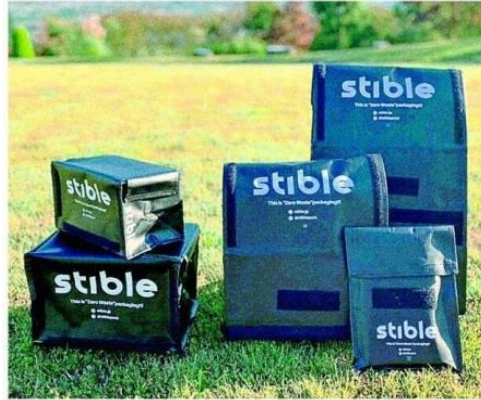
.....
.....

問4

あなたは、どのような物が、再利用されたら良いと思いますか。

.....
.....

南アの企業が新サービス



梱包材回収し再利用

梱包材販売の「88 Base (エイトベース) (南アルプス市沢登、望月大社長) は、リユース(再利用) できる梱包資材を提供するサービス「stible (ステイブル)」を始めた。EC (電子商取引) サイトを運営する企業などにプラスチック製の箱を貸し出し、荷物の届け先から回収して何度も使用する。同社は「廃棄されるダンボールの削減につながる。環境に配慮した取り組みとして普及を図りたい」としている。

〈山本昂輝〉

会社によると、梱包資材は五つのサイズを用意。最大のパッケージL (高さ64センチ、幅33センチ、奥行き18センチ) から、最小のパッケージS (高さ30センチ、幅21センチ、奥行き5センチ) まで荷物の量や大きさに合わせて貸し出しが可能。梱包資材は折りたたみ可能で、届け先からポストに投函して返却してもらう。

再利用可能な梱包資材 (88 Base 提供)

返却された梱包資材は同社がクリーニングし、再び企業に貸し出して再利用する。再利用を促すため、返却された際に店舗で使用できるクーポンやポイントを配布する。

海外では梱包材にリユースできる素材を使用し、再利用する取り組みが増えているが、国内ではほとんど事例がなかった。SDGs (持続可能な開発目標) に配慮した取り組みとして、今後は国内でも需要が高まるとみて事業を始めた。

現在はEC (電子商取引) サイトで衣料品や化粧品を扱う東京都と千葉県内の2社がサービスを利用。県内の利用企業はなく、普及を図る考え。望月社長は「環境に配慮した取り組みは世界的にも注目されている。大量生産・大量消費という社会課題の解決に取り組んでいきたい」と話している。

(2022年12月9日付 山梨日日新聞7面)